

ぶらざ  
スタッフが

グラウンドホームの施主さんにお話を伺ってきました。

## 完全無垢材の上質な家づくりに定評のあるグラウンドホーム。

50社以上の大手ハウスメーカーと地元の住宅会社からグラウンドホームを選び抜き、今年の秋に新築完成を控えた施主さんにグラウンドホームつくば展示場で、お会いしてきました。



### お話を伺ったのは

理学博士  
山田雄二さん・友子さん ご夫婦  
(つくば市在住)



昨年の夏、奥様が体調を崩して倒れてしまった際、お住まいのマンションのエレベーターに、救急隊のストレッチャーが入らなかったことがきっかけで、家を建てることを決意。現在グラウンドホームで注文住宅を建設中。

人と自然素材の「響き合い」を体感し、快適な暮らしのビジョンが明確になりました。

『どのような家を建てたいと、お考えでしたか？』

東日本大震災のときに現在住んでいるマンションの部屋は大きく揺れて家族が全員怖い思いをしたので、「地震に強い家」が一番の条件でした。住宅会社を決めるにあたり、50社以上の話を伺いましたが、耐震制度が整った素晴らしいメーカーはたくさんありました。はじめは耐震についての様々な情報を分析して、地震に強く頑丈というコンセプトが理屈とあっている会社を選んでいました。ただそればかりを気にしていた時にふと「私はどんな家に住みたいのだろう」と原点にかえりました。そこで、「楽しい家・健康で安心して暮らせる家・帰ってきたくなる家」をコンセプトに改め、住まいさがしの方向転換をしました。

『なぜグラウンドホームを選んだのですか？』

初めてモデルハウスを訪れた時、玄関に入った木の良い香りが全身を駆け巡りました。入った途端の体感が今まで訪れたメーカーさんの家とは全く異なり、「体が受け入れている!!」といった感覚でした。天然なものを使用するということを奨励している点に目を向け、自然素材について無垢材・漆喰などについて調べました。すると、『木は生命体であるため、生命体(人間)×生命体(木)は同調しやすく相性がいい』という発見がありました。住まうだけで健康的な暮らしを送れているということがわかり、自分が味わったあの体感は正しかったのかと確信を持ちました。もちろん造り方や構造についても丁寧に教えて頂きました。最も興味深かったのは、基礎の鉄筋が他と全く違って本当に太く、緻密でどこよりも一番細かったこと。頑丈で長持ちする家には、常に重要な土台部分がいかにかかりしているかが大切ということを教えていただき、こころしいと思いました。

### 上棟式にもお伺いしてきました



#### 上棟式を終えて

「棟上げがされてこの地にそびえ立つ我が家を目の前にし、胸が熱くなりました。「感動」の一言に尽きます。グラウンドホームさんをさらに好きになりました。この家で、家族が健康で幸せに暮らせる日常を確信しています。」と山田さんご夫婦。



地震に強いと言われる「蔵作り工法」。向こう側の景色が見えなくなるほどの柱で、構造体をしっかり支えてくれる。

### 取材を終えて

どこまでも自然素材にこだわるからこそ、健康で安全な暮らしを実現できるのがグラウンドホームならではの強さを感じました。「無垢の暮らし」を家づくりの理想形のひとつとしている方には、この暮らしやすさをぜひ一度体感していただきたいです。